『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』を読んだことのある20代～50代の男女58名
調査期間	2026年1月10日～2026年1月11日 2026年1月25日 2026年2月8日 2026年2月22日 2026年3月8日 2026年3月22日 2026年4月5日 2026年4月19日 2026年5月3日 2026年5月17日 2026年5月31日 2026年6月14日 2026年6月28日 2026年7月12日 2026年7月26日 2026年8月9日 2026年8月23日 2026年9月6日 2026年9月20日 2026年10月4日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/tumayobokunokoibitoni/

■アンケート項目

Q1：年代と性別を教えて下さい。
Q2：『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』を実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1:年代と性別を教えて下さい。

20代男性	1人
20代女性	0人
30代男性	16人
30代女性	1人
40代男性	4人
40代女性	5人
50代男性	25人
50代女性	0人

Q2:『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』の感想を教えて下さい。

『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』1話	何度誘っても断られていた巧は気の毒でしたが、自分にも原因があるように思えました。というのも、彼は自分勝手に行動しすぎていたからです。自分の欲求だけで迫っていたと言えるでしょう。しかし、工藤のアドバイスが良いきっかけになったように感じました。これを続けていけば、美月にも巧を受け入れる余裕が生まれてくるのではないでしょうか。今後美月がどのように変化していくのか、注目したいです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』1話	結婚した後の男性と女性の考え方の違いというか、結婚への向き合い方の違いがまざまざと現れていて、男性が読むか、女性が読むかによって、めちゃくちゃ感想が分かれそうな作品だなって思いました。それにしても奥さんが旦那のことを、男性として意識していないどころか、デカい子供みたいに思っていたのは驚いていたけれど、家事も育児もしないんだから、子供と同じなのは納得かも。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』1話	夫婦になったからこそ、安定した生活で日常の刺激が失われている描写がとてもリアルで引き込まれました。そして、再び恋人のような刺激的な毎日を取り戻そうと頑張る主人公を応援したくなりました。奥さんはとても可愛くて、主人公がべた惚れなのも納得できますし、二人の愛の形がどう変化していくのかを見届けたくなりました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』1話	元黒ギャルJK妻というキャラクターの強さはあるものの、共働きで子どものいる35歳夫婦ってあるある設定が感情移入しやすかったです。オタク夫を応援するような気持ちでマイページを生唾ごっくんで読めました。子どもを寝かせて準備万端で、というドキドキ感が伝わるタッチでした。第二話以降もどんな展開になるか楽しみです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』2話	家事の分担がほとんどできていないことに驚きました。美月の家事負担があまりにも大きすぎますね。だからこそ、美月に余裕が生まれず、その気になれないのだなと納得しました。巧の努力が無駄になっていなかったことに安心しました。空回りが続いていたので、どうなるのか不安でしたから。このまま美月を思いやり続ければ、近い将来巧の願いが叶うのではないかと思います。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』2話	世の中にはまったく家事に協力してくれない夫や、妻には一切プレゼントを贈らない夫もいると思うので、巧は夫として素晴らしいと思いますし、やっていることは決して見当はずれというわけではないのですが、それだけじゃ妻の負担はそれほど減らないんだよなぁと読者に思わせるさじ加減がリアルだと感じました。子どもたちを1日どこかに預けるくらいしないとムリだよ、と巧にアドバイスしてあげたくなりました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』2話	お皿洗いや指輪など、美月とラブラブになるための巧の作戦は一見不発に終わってしまっているように見えますが、彼の優しさや気遣いはちゃんと美月に伝わっているようで、2人が愛し合っている夫婦なことが読み取れてほっこりしました。自分の希望を一方的に通そうとしない巧も、きちんとお礼が言えて、考え方がしっかりしている美月も、どちらも素敵な人だなと思いました。

『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』2話	お風呂上りの妻、美月を改めて見た時の生唾ごっくん、「日常の中における非日常」ですね。付き合い当初のむさぼるようにしていた頃と違い、女性は出産を経て改めてオンナらしくなりますよね。改めて恋人として接したい気持ち、記念日のプレゼント作戦、いずれも経験者として頷きながら読めました。レス解消なるか、続きが気になります！
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』3話	巧の努力がついに実を結んだように感じられます。空振りばかりが目立っていた巧でしたが、その積み重ねがあったからこそ成功したのでしょう。美月の気持ちが変化していたからこそ、巧の想いも通じたわけです。心からお祝いの言葉を贈りたいですね。ただ、巧がうまくやれるかどうか気になりました。二人のお子さんがいるぐらいですし、何度も関係を持ってきたとは思います。でも、期間が空きすぎているんですよね。悪い方向に暴走してしまわないかと心配です。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』3話	下心が前提にあるとはいえ、普段は子育てや家事に追われている美月をねぎらい喜ばせるために、アレコレとデートプランを練っていた巧はとても偉いと思いました。なので、美月の気持ちを優先させてその計画が崩れてしまったのはかわいそうでした。また、思い通りにいかなかったからといって不機嫌になったり拗ねたりしないのも巧の美点だなと感じました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』3話	2話のマッサージで良い雰囲気になっていましたし、子どもたちがお出かけして夫婦2人きりという絶好のシチュエーションを迎えたので、いよいよ巧の念願が叶うのかと思いきや、大掃除が始まってしまってびっくりしました。ただ、女性側の立場で考えると、確かにめったにない機会にこそできることを済ませてしまいたいよねと共感を覚えました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』3話	子どもを預けて夫婦水入らずとなった時の巧くんの緊張感が伝わってきました。若い頃のとにかくやりたいモードと違い、雰囲気づくりから準備する健気な巧くん、同じオタク系男子として応援しながら読めました。普段はうだつが上がらない感じなんですが男の顔をするシーンや、妻が妙に艶めかしく感じるシーンが気に入ってます。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』4話	今回は巧が気の毒だと感じましたもちろん、拗ねている時の巧は最悪だったと思います。でも、そこへ至るまでに問題があったように感じました。どんな事情があったにせよ、誕生日の巧を放ったらかしにして2時間以上も長電話をするのはどうかと思います。電話の相手に特別な事情があったとしても、巧を優先すべきだったのではないでしょうか。美月は巧の誕生日を忘れていたのではないかとさえ感じてしまいました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』4話	美月もちゃんと巧の気持ちに応えたいと思っていたのに、タイミング悪く月の障りがきてしまうという展開に、思わずドンマイと巧に声をかけてあげたくなりました。しかもその後もなかなか良い機会が訪れなかったうえ、2人の心がすれ違ってしまうようなことまで起きてしまって、これからどうなってしまうのか心配です。続きが待ち遠しくなる回でした。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』4話	とにかくすれ違いが心苦しいお話でした。美月だって良い方向に行こうと願っているはずです。元彼から電話が来たことだって、今後の生活のことを考えて無視できなかったのかもしれません。でも、精神的にナーバスになってしまっているパートナーに対してそれは悪手だったかも。見事にすれ違っていて、読んでいて歯がゆい気持ちになりました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』4話	夫婦間の、男女間の解決できない認識の相違を考えさせられます。夫側の認識が妻側から見ると違って捉えられているんですね…。第四話では、巧くんのこれまでの努力もあって、美月ちゃんともラブラブモードになってきたのでいよいよレス解消！と思いきや、またしても失敗。レス解消コメディ、まだまだ続きが気になります。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』5話	巧と美月の関係がとても仲良くなって、本当によかったです。もしこじれていたら、一生レスのままになる可能性もありましたから。美月も巧にときめきを感じてくれたようで、何よりです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』5話	同窓会の展開が気になりました。今の美月なら、高峰がアプローチしてきても心が揺らぐことはなかったでしょう。そう思って安心していたのですが、高峰は酔わせて無理やり抱こうとしていました。人の好い美月なら引っかかってしまいそうで、とても不安です。

『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』6話	何故高峰が美月にご執心なのかがわかってスッキリしました。美月からすると、高峰は過去の人です。しかし、高峰は高校時代から止まったままだったのでしょうね。気持ちはわからないでもないですが、酔いつぶしてホテルへ連れ込むという方法はとるべきではなかったなって思います。回想シーンで、高峰が投資詐欺について話していました。美月の実家に関係ありそうな感じがしますし、何をしたのか注目したいです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』6話	高峰には高峰で、コンプレックスを抱えて生きてきたんですね。とはいえ、全く同情はできません。結局無理やり寝取ろうとしていることに違いはありません。やり直すとか言っていますが、今からしようとしていることは全く関係ありませんしね。巧がどう対処するか期待です。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』7話	巧がやってくれました。美月を助けることができただけでなく、あの高峰に対して啖呵を切ったのです。普段の巧からは考えられません。男として一皮剥けたように思います。一方で、独立を目指すというところが気になりました。今はテンションマックスだから、頑張れているだけという感じなんですよね。過労によって倒れる場面もありましたし、体力がついていくかどうか心配です。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』7話	巧と美月の関係がかなり進みましたね。まさか7話の時点で、そんな姿を見せてくれるとは意外でした。人妻らしい少しリアルな肉付きがあり、非常に魅力的なスタイルでした。巧が倒れてしまうほど働いてしまうのもわかります。どんどんサービスシーンが多くなりそうで楽しみです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』8話	巧の努力を称えたいと思います。高峰の会社にまで営業をかけたということは、さまざまな会社に営業活動をしていたのでしょう。巧の性格からすると、そういったことが得意とは思えず、精神的にもかなり大変だったと思います。それでも巧は最後までやり遂げました。家族のために頑張り抜いたことは本当に素晴らしいと思います。レスの問題も解消できて安心しました。その経験を田所にも伝え、夫婦円満の輪を広げていって欲しいですね。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』8話	無事に夫婦関係が改善できて良かったですね。独立と聞いて、少し不安な気持ちになりましたが、あっさりと成功していました。確かに、巧の独立がメインの話ではないので、ここをあっさりと描いていたのは良かったと思います。美月の体もダイナマイトでドキドキ感が満載でした。次の第2章のヒロインも可愛いですし、続編にも期待です。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』9話	夜の生活以外では、本当に仲の良い夫婦だと感じました。付き合いが長いだけあって長所短所を理解し合っていますし、互いに地を出せるというのは素敵だと思います。そんな夫婦でもレスで悩むことがあるんだと驚きました。夜の生活がうまくいかなかった後、喧嘩せずにお互いを思いやる姿に心が温まりました。あの展開なら、揉めても仕方なかったと思うんですよね。しかし喧嘩をするどころか、二人は互いに相手を思いやる行動をとっていました。この二人ならレスを乗り越えられそうだと思います。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』9話	1章は少しだらしがない部分があるけど、ダイナマイトで魅力的な体のヒロインでした。2章のヒロインの凛は、すらっとしていて、これまた違ったドキドキ感があります。早速し始める展開にはドキドキしましたが、レス解消にはならないのでしょうね。それにしても、1ページいっぱいに描かれた凛が本当に綺麗です。主人公の口の破綻は少し気になりました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』10話	レスの原因が痛みにあったことには驚かされました。この様子を見る限り、凛は以前から痛みを感じていたはずで、その段階で適切に対処しておくべきだったのではないかと思います。何の対策も取られないまま関係が遠ざかってしまったことには、正直なところ呆れてしまいました。ただ、耕一が凛の震えに気づけたことは良かったと感じます。以前よりも凛を思いやる気持ちが強くなっていることが伝わってきました。この様子だとレスは改善出来たように思いますし、安心しました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』10話	まさか、こんなに早くレスが解消されるとは思いませんでした。巧のときはもっと時間がかかったので、いろんなトラブルがあるものかと思っていましたので。とはいえ、二人は恋人のような関係には戻れていないと思います。なので、ここからさらに、二人の仲が深まっていく展開が待っているんじゃないかと思います。今でも十分仲は良いと思いますけどね。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』11話	レスが本格的に改善しそうな気配が感じられます。先日、一度は関係を持つことができたものの、その後は続かず、一週間が経過していました。このままでは再びレスに戻ってしまう可能性もありましたが、凛のほうから耕一を求めるようになったことで、状況は大きく変わりつつあります。特に印象的なのは、凛の変化です。彼女から積極的にアプローチされれば、耕一の気持ちも自然と高まることでしょう。恋人のような関係に戻れそうな雰囲気もあり、このまま関係が深まっていく展開

	に期待したいところです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』11話	前回と異なり、かなり順調に関係を築けていますね。今回の話で赤ちゃんができた時を想像するシーンがありましたので、第2章は、二人の間に子供ができるまでの話かもしれません。もちろん、恋人のような関係性を気づいた状態でです。子供ができてからの二人の関係性も気になりますね。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』12話	レスは解消できたことに安堵したのも束の間、新たな問題が浮上した点に戸惑いを覚えました。努力すればすぐに収入へ反映されるわけではなく、この課題はしばらく続いていくでしょう。その不安が関係を持つたびに頭をよぎるようであれば、再び距離が生まれてしまう可能性もあります。短期間では解決できない問題だからこそ、二人の前途にはまだ難しさが残っていると感じさせられました。一方で、凛の最後の言葉も引っかかります。子供を作ることは考えられないとまで言われてしまったら、耕一の決意や努力が報われない可能性も出てきます。だからこそ重要になるのは、ここからの話し合いでしょう。二人がどのような結論にたどり着くのか、注目したいです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』12話	もともと能力が高かったようですし、仕事の面に関しては問題なさそうですね。問題は凛が子供を欲しくないということについてです。なんだか単純に子供がほしくないというよりは事情がありそうなんですよね。それが何なのかは、次の13話で判明しそうです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』13話	凛と耕一の夫婦関係にはこれまでどこか違和感がありましたが、今回の描写によってその背景が明らかになり、納得感が得られました。こういう事情があったから、凛は子供を望まなかったんですね。ただ、耕一は凛の父親と同じような行動をとるとは思えません。そのことをもっと早く理解してくれていればよかったと思います。凛は自分の非を認めることが出来ました。今後どのようにして自分の気持ちを耕一に伝えるのか、その過程に注目したいです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』13話	これまで順調すぎた二人だったので、とうとうトラブルのようなものが起こってワクワクしました。とはいえ、少し離れることで、お互いに頭が冷えたでしょうし、すぐに仲直りはできそうです。そして、最後にはどう着地するのかが重要ですね。巧と同じように独立することはないでしょうし、耕一は今の会社で出世していけるように努力する方向に落ち着きそうです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』14話	耕一にとって、凛は本当になくてはならない存在なのだと改めて感じました。交通事故で夢を絶たれ、心まで折れかけていた耕一を支えたのが凛でした。もしあの時、凛が寄り添ってくれていなければ、今の耕一は存在していなかったかもしれません。それほどまでに、凛の存在は耕一の人生を大きく変えたのだと思います。絶望していた相手を見捨てず、真正面から向き合い続けた凛の強さと優しさには、本当に感動させられました。そして今度は、その立場が逆転しようとしています。落ち込み、自分を見失いかけている凛の前に、今度は耕一が現れました。あの頃とは真逆とも言える状況だからこそ、耕一がどんな言葉を掛け、どのように凛を立ち直らせるのか注目したいです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』14話	巧が出てきたのは意外でしたね。2章もクライマックスっぽいですし、次くらいで2章が終わりそうな気がします。ただ、久しぶりに登場したからなのか、巧のAI絵のクオリティが少し下がったのではないかと感じました。というより、全体的に粗さが目立ってきたように思えます。自分が見慣れてきたからなのかもわかりませんが、やっぱりAIが使われているんだなって、ここにきて再確認しました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』15話	二人の関係が修復されて本当によかったです。むしろ、以前よりも良好な関係になったように感じました。レスが解消されたのも、かつてのように義理や義務感からではありません。お互いの気持ちを確かめ合い、愛し合った結果として自然にそうなったのですから。その変化はレス解消だけにとどまらず、子宝にも恵まれるように。紆余曲折のあった夫婦でしたが、最終的に幸せな結末を迎えられて何よりでした。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』15話	巧、耕一と来ましたが、次は川島部長ときましたか。これは意外です。これまでの二人は夫婦関係が悪いというよりは、少し冷めていたり、マンネリ化していただけでした。ただ、次の川島部長は離婚してほしいと言われているほど、関係が悪くなっている夫婦です。次はどのようにして夫婦関係を改善するのかワクワクしてきました。きっと、巧や耕一の影響を受けて、川島部長も行動を変えていくんだろうなって思います。

『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』16話	現時点ではまだ断定できませんが、川島の離婚騒動は想像していたものとは違う方向へ進みそうで驚いています。そもそも、川島が離婚に至った理由そのものに疑問を抱いていました。社内では誰からも信頼される人格者として描かれていましたし、なぜ離婚を切り出されるような事態になったのか不思議だったのです。実際、川島は傍から見れば幸せそのものの家庭を築いていました。妻や娘との関係も良好で、大きな問題を抱えているようには見えませんでしたから。それだけに、秋穂があのような不満を抱えていたことには驚かされました。夫婦としてのスキンシップ不足が、彼女をそこまで追い詰めていたとは想像もしていなかったのです。だからこそ、今後の展開が気になりました。秋穂の真意を知らない川島がどのように夫婦関係改善に努めるのか注目したいです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』16話	優しすぎて刺激がないと、女性が浮気する話を聞きますが、こんな感じなのでしょうか。性別が違うと、欲の衰え方も違うみたいですし、この年齢になってくると、すれ違いも多くなりそうです。さらに、年を取れば取るほど、取り返すのも大変でしょう。川島部長がどのようにして、妻と恋人になるのか楽しみです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』17話	秋穂には悪いですけど、笑ってしまいました。というのも、まさか川島がここまで鈍感だったとは思ってもみませんでした。本人に悪気はまったくないのですが、気づいていないがゆえに秋穂の地雷を次々と踏み抜いていきます。一方の秋穂も、自分の私物だと知られたくないため、強く反論することができません。結果として、誤解を解こうとすればするほど自分の首を絞めることになり、ただ耐えるしかない状況に追い込まれてしまいました。絶望した表情を浮かべる秋穂には申し訳ないものの、この噛み合わないやり取りが非常にコミカルで笑ってしまいました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』17話	なんか、全然想像していなかった展開になって面白かったです。倉庫を開いた時点で家族の思い出の品とか出てくるのかと思いきや、まさかのギャグ路線。川島部長の天然な性格も可愛らしかったです。これは秋穂さんが苦労しそう。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』18話	太田との飲み会が大きな転機になったように感じました。もともとは太田のメンタルケアが目的でしたが、自分の置かれている状況を説明することで、川島自身も夫婦関係を客観的に見つめ直すことができたのだと思います。もしあの場で秋穂が浮気をしているかもしれないという可能性に思い至らなければ、秋穂の職場へ向かうこともなく、自分の本当の気持ちに気づくきっかけも得られなかったでしょう。そう考えると、この飲み会は事態を前進させる重要な出来事だったように感じます。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』18話	秋穂にとっては、ようやく望んでいた展開になったと言えるのかもしれません。川島は妻としてだけでなく、一人の女性として秋穂を求めるようになりました。そんな川島の変化に対し、秋穂がどのような反応を見せるのか。そして、二人の距離は本当の意味で縮まるのか今後の展開に注目したいです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』19話	川島がEDだったことに驚きました。健康状態も良さそうですし、普段の生活ぶりを見ても、年齢的にそこまで深刻な問題を抱えているようには見えませんそれだけに、完璧に見えていた川島にも意外な弱点があったのだと感じました。一方で、川島の頑張りがどのような影響を与えたか気になります。ED治療薬を服用しただけでなく、川島は筋トレまでしていました。その効果がどれくらい出るのか、注目したいです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』19話	作中で治療薬に頼った時、顔がほてるだけでイマイチ効果を感じない、というのがリアルです。自分も治療薬を服用したことがありますが、実際にそのような感じでした。普段は火照るだけですが、反応が良くなるような感じなんですよね。何度か服用していると、結構実感がでてきたので、宗介もそんな漢字になるんじゃないかなって思います。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』20話	思ったより川島のアプローチが激しくて驚かされました。てっきりベッドでするものかと思っていたのですが、まさか立ったまま始めてしまうとは。それだけ川島は秋穂を求めていたということなんでしょうね。また、そんな川島に男を感じてしまい、蕩けるような表情を見せる秋穂もとてもセクシーで良かったです。これで川島の夫婦問題は解決したと思います。秋穂が不満に感じていた夜の生活問題は改善されたのですから。あとは今日だけに留まらず、今後も機会があれば頑張るようにして欲しいですね。

『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』20話	すれ違いとかはありましたが、案外あっさりと恋人のような関係に戻ったなという印象です。やっぱり第1章が一番トラブルがありましたし、そういうハラハラ感のようなものは第3章にはなかったと思いました。次回予告とかはないのでわかりませんが、川島夫妻の話はこれで終わりな気がします。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』21話	あまりの急展開に驚かされました。川島は離婚の危機を乗り越え、夫婦仲も円満になりました。幸せなムードに包まれた状態で、二人のストーリーは終わるのではないかと想像していただけに、意外過ぎました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』21話	不幸続きな展開でしたけど、秋穂の対応にホッコリしました。川島を心から愛していることが伝わってきましたし、二人で力を合わせて、この危機を乗り越えてほしいですね。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』22話	最初は驚きました。年老いた秋穂が一人で過去を思い浮かべていたので、もしかすると川島のガンは手遅れだったのではないかと感じたんですよね。でも、その後、今でも元気な姿を見せてくれたことにホッとしました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』22話	ガンという強敵を前にして、二人の絆は一段と深まったんでしょうね。その結晶が、息子として現れたんだと思います。今も仲睦まじく過ごしている二人の姿を見て、こちらまでほっこりしました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』23話	龍三も苦しい立場にあるということがわかりました。まだ龍三は32歳なのですから、欲は十二分にあります。そして、目の前には大好きな茜がいるのですから、それを抑え続けるのは相当大変なんでしょうね。この環境でよく仕事を続けられるものだと感心しました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』23話	二人の様子を見ている限り、タイミングさえ合えばレスは解消できそうに思います。この状況を変えるために龍三はどのような方法を用いるのか、注目したいです。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』24話	二人の関係は一歩前進したように思います。小田切京平の存在が龍三の心に影を落としたとはいえ、龍三は茜の置かれている現状を知ることができました。それによって龍三は自分自身を見つめ直すことができましたし、二人にとっては良い方向へ進み始めたように思います。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』24話	二人きりの時間を作る努力をした方がいいように感じました。茜が龍三に迫っている場面もあるのですから、茜にその気が全くないというわけではありません。ただ、タイミングが合わないだけ。ですので、両親に一日灯を預かってもらう等すれば、龍三の悩みは解決するのではないかなって思いました。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』25話	茜に仕事を手伝ってもらっているというところが不味かったですね。お金を稼ごうという考え自体は良いと思いました。しかし、今の体制だと龍三が頑張れば頑張る程、茜の負担も増えてしまいます。これをどうにかするのが先決のようにも感じました。茜も子育てだけに専念できるようになれば、負担がかなり減るのは間違いないでしょう。そうなれば龍三との時間を楽しむ余裕も生まれてくるでしょうし、是非とも頑張って欲しいですね。
『妻よ、僕の恋人になってくれませんか？』25話	茜ちゃん、可愛すぎませんか。あの服をさり気なく脱ぐシーンにドキドキしました。これは普通に服を脱ぐよりもドキドキ感があります。これで久しぶりにできそうだけど、結局赤ちゃんが起きてできないか、龍三の体力に限界が来て寝てしまうとかの展開になりそう。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス